

eitoeiko より、2010 年 12 月の展覧会のお知らせです。

加藤仁史「身体・感情・知性」

2010 年 12 月 4 日-2011 年 1 月 29 日(冬期休廊 2010 年 12 月 26 日-2011 年 1 月 11 日)

新宿や渋谷、下北沢の地下で轟音を響かせるライブハウスから、ラウドパークなどのスタジアム級のロックコンサートまで、ライブ会場を主戦場とするロック写真家・加藤仁史にとって、被写体を連続して撮影することは至高のワンピースを目指しての行為であって、動画として認識するものではない。

生命力の周期を表すバイオリズムは、「身体」「感情」「知性」の 3 つの波で解釈される。音楽を生き物ととらえたとき、一曲、あるいはコンサート全体としての生命の 3 つのバイオリズムの重なる頂点、彼のファインダーはその瞬間を狙っているのである。そしてその前後を見据えるのだ。たとえばシンバルを叩く直前、音の発生の瞬間、フォロースルーといったミュージシャンの細かな動きを、写真家は逃さず艶やかな光の中に収めていく。

「楽器を演奏するコツはリズムの裏拍を感じる。だから僕は裏拍でシャッターを押しているかもしれない」と語る加藤仁史。このたびは長年活動を記録し続けたロックバンド、ゆらゆら帝国の静と動の波間にゆれる音楽の鼓動を独自の視点で捉えた作品に、写真家の真骨頂をみせる。

加藤仁史(かとう・ひとし)略歴

1961 年 4 月生まれ。山口県岩国市出身。

1989 年「DOLL」誌にてデビュー

1995 年個展「解体の行方」(新宿コニカプラザ)／個展「解体の行方・II」(渋谷 ON AIR WEST)

2001 年個展「LEVEL ONE」(中野新橋 BAR・SIGLO)

2006 年 イベント参加「プチライブ」沖縄慰霊の日特別企画「生きる」にて(新宿 Naked Loft)

2007 年 「ロックなスライドショー」(新宿 Naked Loft)

2009 年 アジアトップギャラリー・ホテルアートフェア(ソウル)



関連ワークショップ:「ロック写真を撮ろう！」

2011 年 1 月 15 日(土)(※予定:スケジュール調整中)18 時から

出演:加藤仁史、TSUNEGLAM SAM(ヤングパリジャン)

珠玉のロック写真とは? どうしたらロック写真家になれるのか? 加藤仁史本人による解説を交えたスライドレクチャー。そして実際に会場で行われるミニアコースティックライブを参加者が撮影し、その作品についてコメントを加えます。

eitoeiko

〒162-0805 東京都新宿区矢来町 32-2

電話・FAX 03-6479-6923 URL: <http://eitoeiko.com> Email: [ei@eitoeiko.com](mailto:ei@eitoeiko.com)